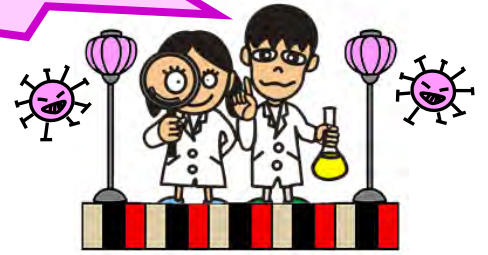


# 感染症に気をつけよう!

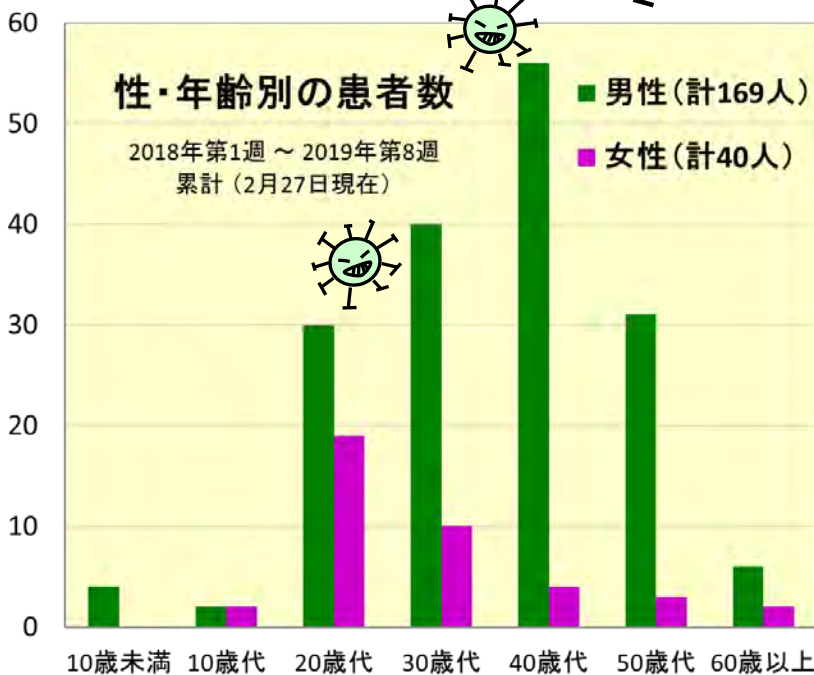
2019年【3月号】

## 横浜市内の感染症 流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
<u>インフルエンザ</u> **	流行	減少	1月下旬にピークとなった後、2月中旬に警報が解除されましたが、まだ流行中です。【'19.2号】
<u>風しん</u> **	多発	横ばい	30~40代の男性を中心に、報告数が多い状態が続いています。【'18.10号】【風しん対策事業】

## 今、気をつけたい感染症 風しん

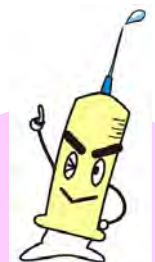


● ほとんどの患者さんが**予防接種を受けていないか、接種歴が不明**です。

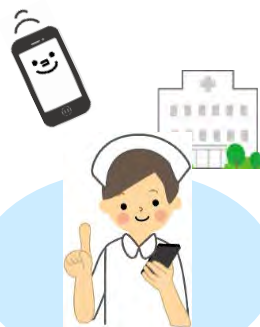


● 妊婦が感染すると、お腹の赤ちゃんにも感染して、**先天性風しん症候群\***になる可能性があります。

● あなた自身と、周りの人を守るためにも、**予防接種を受けましょう**。(妊娠中は受けられません。)



● 万一、風しんを疑う症状(発熱・発疹・リンパ節の腫れなど)が出たら、必ず事前に**医療機関へ電話**して、指示に従って受診しましょう。



参考ホームページ

\*:国立感染症研究所 \*\*:厚生労働省